

市町村名	東村
------	----

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	パインアップル品質向上生産施設整備事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和4年度	おきなわブランドの確立
			沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)

事業内容
 本村の特産品であるパインアップルの品質向上のため、ハウス施設を整備し低温や長雨などによる気象の影響やカラス・イノシシなどの鳥獣被害を抑えることで、高品質なパインアップルの安定生産を図る。

効果発現年度
 当年度 後年度(年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a) 当初予算額	52,980				
	(b) 予算現額	49,500				
	(c) 増減額(b-a)	▲ 3,480	0	0	0	0
	(d) 繰越額	0				0
	A. 計(b+d)	49,500	0	0	0	0
	B. 執行済額	39,600				
	うち交付金充当額	31,680				
	次年度繰越額	0				0
	執行率(%) (B/A)	80.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	当初ハウス施設整備に係る予算額52,980千円を見込んでいたが、施設設置に係る工事入札の結果、予算額より3,480千円の減額となった。					

活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況			
		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		ハウス施設整備の支援	目標 (3,861㎡)	()	()
	実績	3,861㎡			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス施設整備の事業主体である東村園芸作物等産地協議会に対して整備に係る支援を行った。 ・施設整備の事業主体により、パイプハウス施設3,861㎡が整備された。 				

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R4年度)	
		ハウス施設の設置完了	目標 (0㎡)	(3,861㎡)	()	()	(3,861㎡)
		実績	3,861㎡				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス施設整備の事業主体である東村園芸作物等産地協議会に対して進捗状況の確認を行うなど支援を行い設置が完了した。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・ハウス施設の設置に際して農家の農作業スケジュールとの調整を図る必要があるため設置工事と農作業とのすり合わせが必要であった。</p>	<p>・高品質なパインアップルを安定的に生産・出荷するため、計画的な栽培体系を確立し、栽培に必要な農作業を適期に行うよう必要な営農指導や支援を行う。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・パインアップルの産地としての知名度向上とブランド化を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
49,500	39,600	31,680	7,920	9,900

```

graph LR
    A[東村  
39,600千円] -- 補助金  
39,600千円 --> B[東村園芸作物等産地協議会  
49,500千円]
    B -- 工事費  
49,500千円 --> C[ハウス設置工事  
沖阪産業(株)  
49,500千円]
    B -- 受益農家負担金  
9,900千円 --> D[受益農家負担金  
9,900千円]
  
```

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助金交付先は関係機関で構成された協議会で目的達成のため妥当な団体である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○受益農家との調整により面積・予算等の規模を決定しており適正な規模・予算と判断した。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者負担は総事業費の2割を負担しており、補助金交付要綱等から判断して妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○設置工事完了後に検査を実施しており目的達成に必要なものであると判断される。

市町村名	東村
------	----

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2-①	特別支援教育支援員配置事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ 時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度 平成27年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)

事業内容	教育上、特別な支援を必要とする幼児並びに児童生徒に対し、円滑な学校生活を送れるように在籍する幼稚園並びに小中学校において特別支援教育支援員を配置し、適切な学習環境を保持する。
------	---

効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)
--------	---

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()
------	--

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	14,667	10,786	10,224	7,536	7,497
	(b) 予算現額	7,829	8,989	7,723	6,107	6,387
	(c) 増減額(b-a)	▲ 6,838	▲ 1,797	▲ 2,501	▲ 1,429	▲ 1,110
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	7,829	8,989	7,723	6,107	6,387
	B. 執行済額	7,400	6,651	5,537	4,229	3,516
	うち交付金充当額	5,920	5,321	4,429	3,383	2,813
	次年度繰越額					
	執行率(%) (B/A)	94.5%	74.0%	71.7%	69.2%	55.0%
	予算の状況の説明	支援を必要とする児童生徒に対応する時間が不定期であり、支援時間以外を交付対象外経費として計上している。また、コロナなどによる児童生徒の登校も影響し、執行率が上がらなかった。				

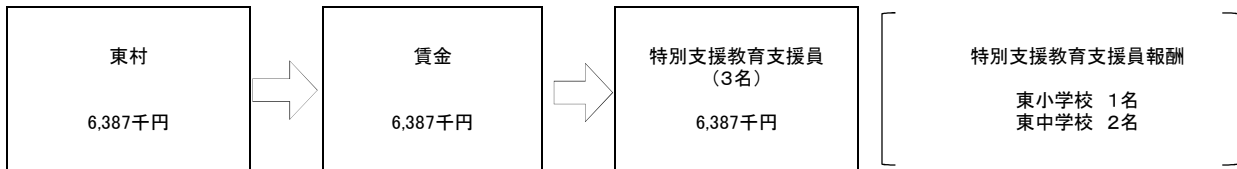
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況			
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		2小学校へ各1名、1中学校へ2名の特別支援教育支援員を配置する	目標 (小学校3名配置 中学校3名配置)	(小学校2名配置 中学校3名配置)	(小学校2名配置 中学校3名配置)
	実績	小学校2名配置 中学校3名配置	小学校2名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置	小学校1名配置 中学校2名配置
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	当初は小学校へ2名・中学校へ各2名、計4名(12ヶ月)の特別支援教育支援員配置を予定していたが、小学校において配置見直し等を行い、小学校へ1名、中学校へ2名配置へ変更したが職員を募集したにも関わらず応募がなく、どうにか年度途中の9月より配置できた。 特別支援教育支援員と教職員及びスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携を図り、児童生徒個々のニーズに応じた支援を行うことにより、適切な学習環境の保持ができた。				

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
		支援員に対する満足度(80%以上)	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	
	実績						
進捗状況説明	支援対象児童生徒の保護者(3名)に対しアンケートを実施、3名からの回答を得た(回収率100%)。特別支援教育支援員の対応に満足しているかの問いに対し、「とても満足100%」の回答が得られた。また、「支援員の支援を受けてお子さんに変化はありましたか」との問いに「変化があった」「とても変化があった」との回答があった。 保護者からは「支援員と情報共有することにより、学校での学習の様子なども把握することができ満足している。」等、支援を受けることにより学習意欲に繋げることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>特別支援教育支援員による授業中のサポート、見守り支援、個別での課題(家庭学習)作成、放課後の補講などにより支援員配置の満足度は達成できた。</p> <p>今後は、保護者からの声を支援員(学校)と共有することにより、より一層事業の推進に繋げる必要がある。また、支援員間の情報交換及びスキルアップを図ることを目的として支援員対象の研修会内容の拡充、指導主事やスクールカウンセラーによる授業参観を行い、教諭や支援員へ指導助言を行った。</p>	<p>支援を要する幼児児童生徒一人ひとりに合った支援体制を維持していくため、今後もスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる巡回相談のあり方や巡回後の学級担任・特別支援教育コーディネーター等との面談・情報交換等を定期的に行う。</p> <p>特別支援教育支援員研修会を今後も継続し、資質向上を図るとともに、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーからのアドバイス・情報提供を活用する。</p>
今後の取り組み方針		
<p>スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーからの個別の支援アドバイス等を学校・特別支援教育支援員へ情報提供し、支援方法の共有を図る。教職員、特別支援教育支援員、指導主事等や保護者間で随時情報交換を行い、個々の状況を把握しながら支援の必要な幼児児童生徒に適正な支援を行えるよう、体制強化に努める。</p> <p>アンケートの内容や事業の周知方法等を見直し、成果目標の検証に役立てる。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,387	3,516	2,813	703	2,871



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先の選定方法について、支援員は応募者を面接により選定し、「東村会計年度任用職員の給与に関する規則」に基づき任用しており、妥当である。</p> <p>○予算規模において、予算範囲内で執行できており、事業内容に見合った適正な規模である。</p> <p>○費目・用途については、支出等に関する書類により確認し、適正である。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名								
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-①	小中学校電子黒板設置事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(ウ)		
担当部課名	東村教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26年～令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の確保と学習環境の充実			
事業内容	将来の本村や沖縄振興に資する人材育成や沖縄が抱える学力向上における課題克服の為に村内小中学校の普通教室に電子黒板を整備し、児童生徒に解りやすく効果的な授業を実施し、学習意欲を高め学力向上を図る。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	28,556					
		(b) 予算現額	23,430					
		(c) 増減額(b-a)	▲5,126	0	0	0	0	
		(d) 繰越額	0					
		A. 計(b+d)	23,430	0	0	0	0	
	B. 執行済額		17,821					
	うち交付金充当額		14,256					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		76.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		入札残により5,126千円減額した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	村内小中学校の普通教室へ電子黒板を設置		目標 (17台)	()	()	()		
			実績	17台				
			目標 ()	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	村内小中学校普通教室に電子黒板の設置が完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)	
	児童生徒にアンケートを実施し、電子黒板を活用した授業が分かりやすかったか(80%以上)を含め、児童生徒へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	()	()	()	
			実績	80%				
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()	
			実績					
	進捗状況説明	児童生徒の満足度については、アンケート結果により目標である80%を達成するものとなった。						

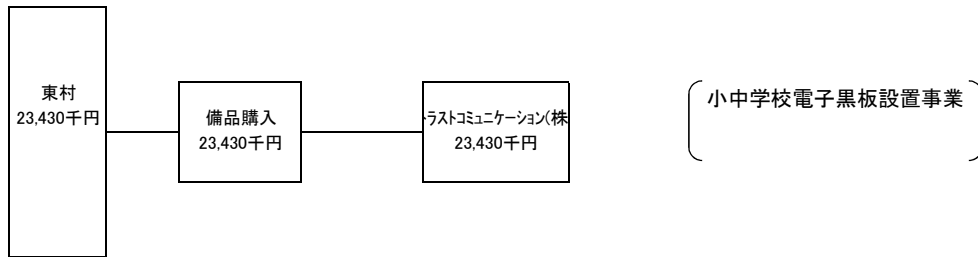
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>綿密な打ち合わせを事業者及び学校と行い、授業等へ支障が無いよう設置完了することができた。</p> <p>満足度については、教職員によって電子黒板の使用頻度に差がみられた。</p> <p>一部教科で特別教室を利用することもあり電子黒板の利用がないものがある。</p>	<p>教科・学年ごとの授業格差解消を図るため村内小中学校特別教室に電子黒板を整備し、学習環境を整える。</p>

今後の取り組み方針

○各教職員の電子黒板活用スキルの向上を図り、児童生徒の県及び国の学力検査(テスト)のレベルアップを図る。
 ○教科・学年ごとの授業格差解消を図るため村内小中学校特別教室に電子黒板を設置し、分かりやすい授業を展開することで児童生徒の学習意欲を高め学力向上を図る。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
23,430	17,821	14,256	3,565	5,609



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○備品購入業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村
------	----

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-①	東村自然環境保全事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(3)-ア 海洋島しょ圏としてのSDGsへの貢献
担当部署名	建設環境課	事業実施 (予定)年度	令和3年～令和8年度	III-10-(1)

事業内容
貴重な漁場及び観光資源となる海を保全するとともに産業振興を図るため、本村内での発生源調査及び土木的対策方法を検討し、赤土等流出の抑制を図る

効果発現年度
 当年度 後年度(令和5年度)

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	(a) 当初予算額	5,170	27,830	0	0	0
		(b) 予算現額	2,420	21,725	0	0	0
		(c) 増減額(b-a)	▲2,750	▲6,105	0	0	0
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
		A. 計(b+d)	2,420	21,725	0	0	0
		B. 執行済額	2,420	20,427	0	0	0
		うち交付金充当額	1,936	16,341	0	0	0
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	100.0%	94.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
		予算の状況の説明	入札残等の6,105千円は第4回変更交付決定にて減額した。				

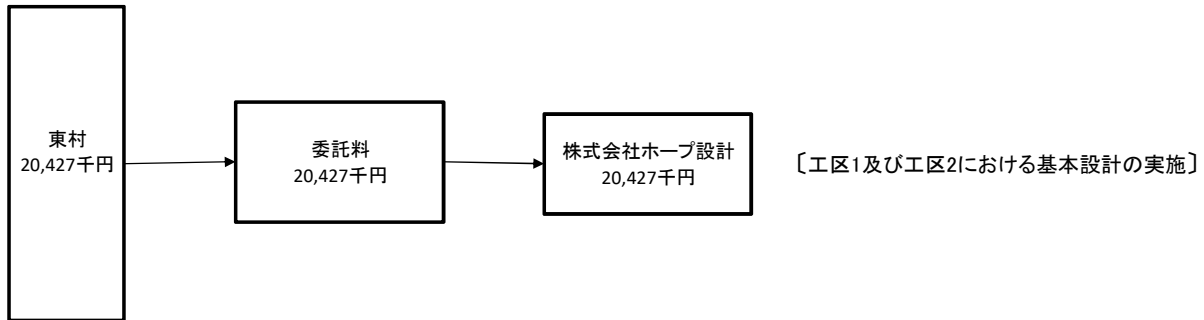
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		工区①及び工区②における基本設計の実施	目標	(実施)	(実施)	()
	実績	実施	実施			
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	工区1及び工区2における基本設計を実施した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		工区①及び工区②における基本設計の完了	目標	()	(基本設計)	()	()	()
			実績	/	基本設計の完了			/
			目標	()	()	()	()	()
	実績	/				/		
進捗状況説明	工区1及び工区2における基本設計を実施し完了した。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	既存対策施設の整備を行う際に、堆積土砂が多量にでることが想定されることから、排出方法や排出先の検討を行う必要がある。	堆積土砂の搬出については、泥土改質材等を活用し作業効率化を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
令和5年度に工区1の実施設計、令和6年度に工区1の整備着手、令和7年度に工区2の実施設計、令和8年度に工区2の整備着手のスケジュールで整備を進めていく。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
20,427	20,427	16,341	4,086	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	5-①	東村海外移住者子弟研修生受入事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-ア			
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成25年～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交流基盤としてのウチナーンチュネットワークの継承・発展			
事業内容	南米2カ国(ブラジル・アルゼンチン)の東村人会から推薦された子弟(2世・3世)を研修生として受入れ、日本語講習、沖縄文化研修及び村民、県民との交流を通じて、本村と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を図る。							
効果発現年度	■当年度 後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額			5,848			4,620
		(b)予算現額			4,620			5,896
		(c)増減額(b-a)			▲1,228			1,276
		(d)繰越額						
	A. 計(b+d)				4,620			5,896
	B. 執行済額				4,620			5,823
	うち交付金充当額				2,774			3,226
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)				100.0%			98.8%
予算の状況の説明		円安や燃料サーチャージ高騰の影響により当初予算に1,276千円増額した。不用額の73千円については、滞在費および交通費の減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度		
	研修生受入 4人	目標	(4人)	()	()	(4人)		
		実績	4人			4人		
染め物や沖縄料理、方言等の沖縄文化を学ぶとともに村民及び県民との交流を実施	目標	日本語講習、沖縄文化学習等の実施、村民及び県民との交流	()	()	()			
	実績	日本語講習、沖縄文化学習等の実施、村民及び県民との交流			日本語講習、沖縄文化学習等の実施、村民及び県民との交流			
達成状況説明	・ブラジルから2名、アルゼンチンから2名の研修生を受け入れ、前半は、日本語講習を実施し、後半は、紅型・藍染研修、沖縄料理、方言等の講習を実施した。 ・空手やウチナーン三線、琉球舞踊などの講習を実施した。 ・村内各種イベントや第7回世界のウチナーンチュ大会等に参加し、村民や県民との交流を始め、各国の沖縄にルーツを持つ移住者やその子弟との交流を通じ、ウチナーネットワークの構築を図った。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(令和5年度)	
	東村人会へのアンケート数値:80%以上	目標	()	()	()	(80%以上)	()	
		実績				100%		
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
実績								
進捗状況説明	・ブラジルとアルゼンチンの東村人会にアンケートを実施し、研修生が帰国後、東村人会の活動に積極的に参加し、東村との交流やネットワーク構築に貢献出来ているとの回答が100%であった。 ・研修生が帰国後、村人会や県人会に参加し、東村民との関係を継続していることから、本村と移住先国子弟との友好親善、沖縄文化の継承に貢献出来る人材育成に取組めたことが確認出来た。							

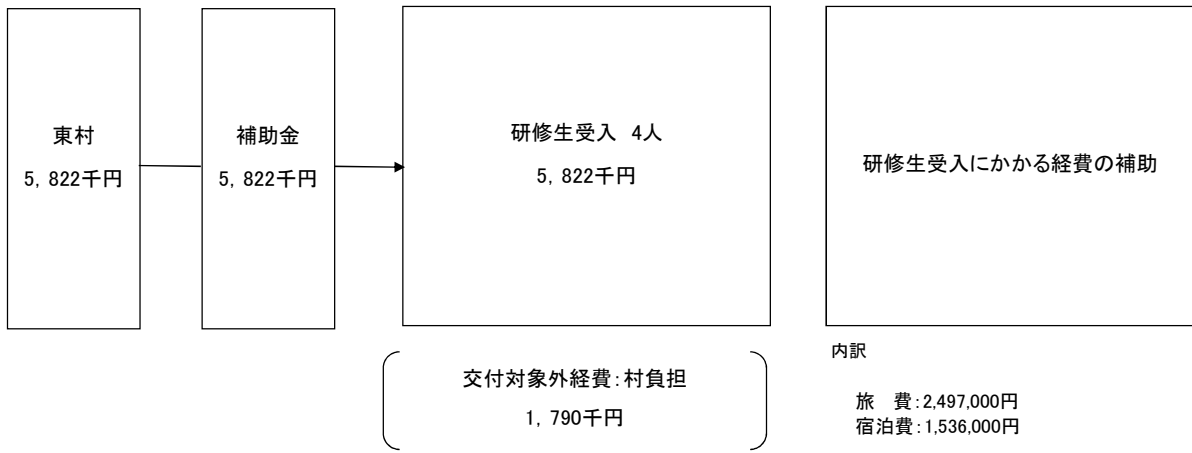
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(東村人会の満足度) ・東村人会のアンケート結果により、研修生が帰国後も東村人会の活動に参加し、東村民との関係を継続出来ていることが、目標達成の要因と思われる。 (連携強化) ・村人会の高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響により、本村と東村人会との連携不足、研修生との情報共有不足、文化の違いにより研修内容に対する考えの食い違いがある。 ・研修生4名の受入について、村内だけでは難しい。	(東新人会の満足度) ・東村人会の満足度は、目標達成できているので、今後も本村と東村人会のネットワークを維持する。 (連携強化) ・南米訪問、またはオンライン等での定期的な交流を実施し、情報共有を図り、お互いの役割分担を明確化する必要がある。 ・村内並びに村外各種団体とも連携し、これまで以上に充実した研修メニューを作成する必要がある。

今後の取り組み方針

・東村人会との連携を強化し、情報共有を図る。
 ・村内外の各種団体と連携し、充実したメニューを作成し、研修生の意欲の向上を図ることで、本村と移住先国との友好親善、沖縄文化の振興に貢献しうる人材育成、移住先国子弟とのネットワーク強化を目指す。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,823	4,033	3,226	807	1,790



資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・東村補助金等に関する規則に基づき適切に交付しており、妥当と考える。 ・不用額は、事業費の2%以内であり、予算規模は適正と考える。 ・東村海外子弟研修生受入事業補助金交付規定に則り交付を実施しており、妥当と考える。 ・費目・用途については、清算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村
------	----

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	7-①	東村博物館機能高度化事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(1)-(ア)
担当部署名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	令和4～令和7年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
				地域を知り、学びを深める環境づくり
				Ⅲ-3-(3)

事業内容
東村の自然・歴史・文化・民俗に関する資料の収集を継続的に推進し調査研究を実施すると共に、県内外を問わず幅広く公開、活用され、観光振興と生涯学習に資することを目的に、文化発信拠点である村立博物館の施設機能高度化を実施する。

効果発現年度 ■当年度 ■後年度(8 年度)

実施方法 □直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)	(a)当初予算額	17,853				
	(b)予算現額	16,500				
	(c)増減額(b-a)	▲1,353	0	0	0	0
	(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)	16,500	0	0	0	0
	B. 執行済額	16,500				
	うち交付金充当額	13,200				
	次年度繰越額	0				
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	入札残により1,353千円を減額した。				

活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		基本設計策定の実施	目標	(基本設計策定の実施)	()	()
	実績	基本設計策定の実施完了				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	東村博物館施設機能高度化を図るための基本設計策定を実施した。					

成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
		基本設計策定の完了	()	(基本設計策定の完了)	()	()
		実績		基本設計策定の完了		
	【参考指標】 供用開始後1年目(令和8年度予定)の目標を 年間利用客数25,000人	目標	()	()	()	()
		実績				
進捗状況説明	計画どおり東村博物館機能高度化事業:基本設計策定が完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	綿密な打ち合わせや現場確認を行い、現状の課題整理や自然環境を含めた検討ができるように調整し、期限内に完了できた。	機能高度化の基本設計を踏まえ、必要機能及び展示内容を精査し実施設計につなげていく。
今後の取り組み方針		
<p>今後は東村立博物館高機能化基本設計を踏まえ、実施設計を策定する。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	16,500	16,500	13,200	3,300	0
<pre> graph LR A[東村 16,500千円] --> B[委託料 16,500千円] B --> C[美音Space Design株式会社 16,500千円] subgraph Business [] C end </pre>					

資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入力で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東 村
------	-----

令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	8-①	福地川周辺利活用構想策定事業	新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)
担当部署名	企画観光課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所
				ツーリズムの推進
				Ⅲ-1-(1)

事業内容 福地川海浜公園を核として、福地ダムや山と水の生活博物館等の福地川周辺域を活用した新たな観光メニューの開発を図るため、福地川周辺の活用、整備等を示す福地川周辺利活用構想を策定する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a) 当初予算額	4,200				
	(b) 予算現額	3,762				
	(c) 増減額(b-a)	▲438	0	0	0	0
	(d) 繰越額					
	A. 計(b+d)	3,762	0	0	0	0
	B. 執行済額	3,762				
	うち交付金充当額	3,009				
	次年度繰越額	0				0
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	・年度内に執行することが出来た。				

活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		・現状、課題の整理 ・動向調査、事例調査 ・関係機関ヒアリングの実施 ・構想の策定	目標	(構想の検討)	()	()
	実績	構想の検討				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	・関連計画等の収集整理、関係機関へのヒアリングの実施、県内外の事例や対象地の現状の把握を行った。対象地をゾーニングし、各エリアごとの利活用の考え方、活用案について検討することができた。					

成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
		福地川周辺利活用構想の策定	()	(構想の策定)	()	()	()
		実績		構想の策定			
	【R5成果目標】策定した構想を基に、福地川周辺利活用に向けた施設整備やメニュー開発など、今後の利活用に向けた展開及び目標について設定する。	目標	()	()	(成果の設定)	()	()
		実績					
進捗状況説明	・関連計画等の収集整理、関係機関へのヒアリングの実施、県内外の事例や対象地の現状の把握を行った。対象地をゾーニングし、各エリアごとの利活用の考え方、活用案を取りまとめ構想策定を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングを実施した所在自治会や各関係機関において計画、実施している若しくは検討している事業や要望する施設等を把握することができた。 ・福地川周辺域での民間開発計画等による計画の調整。 	<ul style="list-style-type: none"> ・福地川周辺域の利活用を推進するために、各関係機関で個別で実施している若しくは計画している事業、要望事項の共有、連携強化を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・各関係機関が計画している事業、要望事項等の情報共有を密にし、内容によっては村が間に入り助言や事業への参画、村が主体となり事業を進めるなどの取組が必要。策定した構想の実現に向け、関係機関との懇談会や意見交換の場を設ける。 		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,762	3,762	3,009	753	0
<pre> graph LR A[東村 3,762千円] --> B[委託料 3,762千円] B --> C[株式会社 国建 3,762千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・支出先の設定方法は、実績等を勘案し指名競争入札において委託業者を選定した。 ・予算規模については、事業目的を達成するために必要な費用を計上しており、適正であった。 ・費目・用途については、業務完了後に検査を実施。適正に実施されていることを確認している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	9-①	環境保全・ネコの適正飼養推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(2)-(ア)		
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	令和4年～令和10年度	沖縄振興基本方針該当箇所	自然環境・生物多様性の保全・継承 III-10-1		
事業内容	地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、本村における飼いネコ及び飼い主不明ネコの実態調査を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和5年度以降)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,200				
		(b)予算現額	1,200				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0				
	A. 計(b+d)		1,200	0	0	0	0
	B. 執行済額		1,181				
	うち交付金充当額		945				
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		98.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		予算額に対し98.4%の執行率となり計画通りだった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	村内における飼いネコ・飼い主不明ネコ・地域ネコの現況を調査し把握する。		目標 (調査実施)	()	()	()	
			実績	調査実施			
			目標 ()	()	()	()	
			実績				
達成状況説明	調査は、自動撮影カメラ調査と村民への聞き取り調査を実施。飼いネコ登録されているネコについては全件把握でき、死亡・転出・譲渡・室内飼養・首輪・不妊去勢手術・マイクロチップ装着等の情報を得ることができた。登録されていないが、飼っているネコの状況については、80件(内登録済み56件)の調査結果が得られた。登録されていない飼いネコの把握は難しく、一部把握できていない可能性がある。調査で把握した飼い主不明ネコ、地域ネコについても生息地及び頭数を把握した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	①飼いネコの飼養状況:全件把握	目標	()	(飼いネコの飼養状況 全件把握)	()	()	()
		実績		飼いネコの飼養状況登録ネコ:全件把握 未登録ネコ:一部把握			
	②飼い主不明ネコ・地域猫の生息地・頭数把握	目標	()	(飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握)	()	()	()
		実績		飼い主不明ネコ・地域猫の生息地頭数把握			
	進捗状況説明	・飼いネコの飼養状況把握については、80件(内登録済み56件)の情報を得られたが、全件把握については未達成となった。 ・飼い主不明ネコ・地域ネコの生息地・頭数把握については、カメラ調査、聞き取り調査により把握できた。					

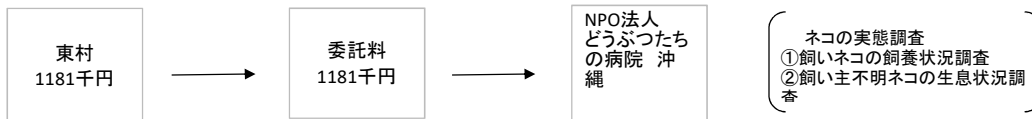
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 調査については、村内6集落に合計18台のカメラの設置、村内での聞き取り調査により集落内のネコについて調査を行ったが、村に登録されている飼いネコについては全件把握できたが、未登録の飼いネコについては、一部把握できていないネコがいる可能性もあるため、引続き対策を取りながら並行して未登録の飼いネコについては聞き取りにより把握し、登録・不妊去勢手術・屋内飼養等の適正飼養を促していく必要がある。 外飼いの飼いネコ・飼い主不明ネコ・地域ネコの数が想定よりも多く、地域住民の安全確保及び世界自然遺産登録された貴重な自然生態系の保全のため、早急に対策をとらなければならない状況であると考え。 ネコに餌をあげているが、飼っているという認識はない方や、飼っているが登録されていない等、適正飼養ができていない現状があり、適正飼養推進が急務である。 	<ul style="list-style-type: none"> ネコの適正飼養については、周知不足を実感したため、村内広報やイベント等を利用し、継続した呼びかけを実施し、他団体等との連携も強化しながら適正飼養推進について検討していくことが必要である。 飼い主不明のネコや地域ネコについては、保護収容し不妊去勢手術を行った後に譲渡するが、村内のみならず、県外や他団体とも連携を図り、譲渡強化を図りたい。

今後の取り組み方針

- ・飼いネコの適正飼養について、広報誌や各種イベント、SNS等で周知を図る。
- ・地域ネコの保護、飼い主不明の野生化したネコの保護・避妊去勢手術を行い、村内・村外・県外への譲渡斡旋を強化し、適正飼養の徹底を促す。
- ・協議会等で、村内のネコの現状について情報共有を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,181	1,181	945	236	0



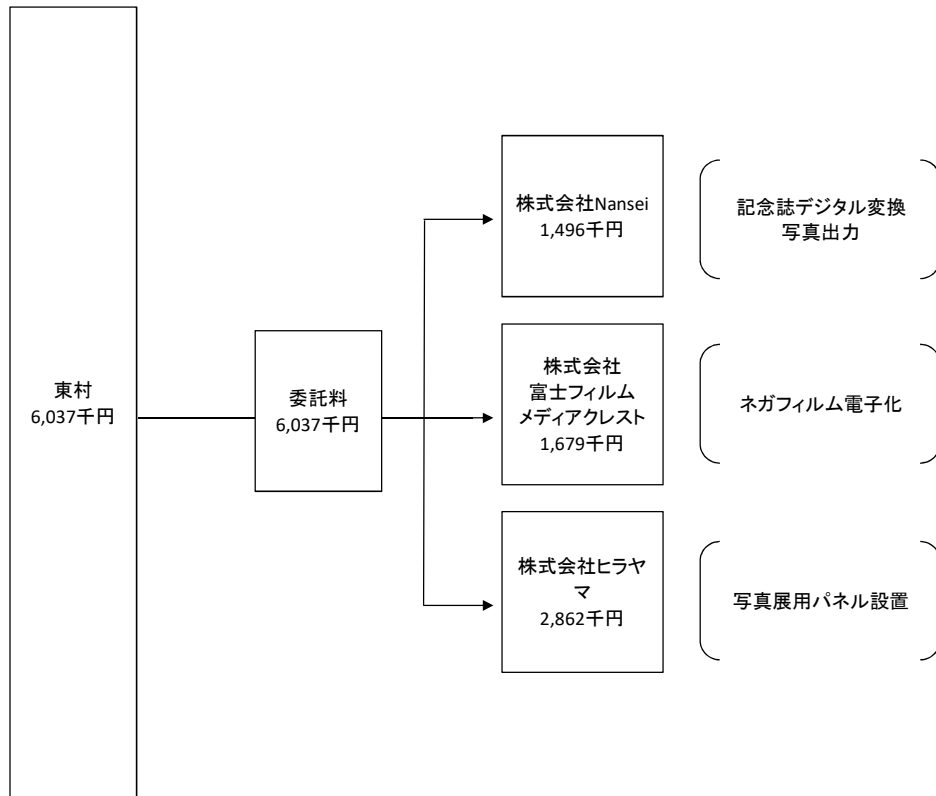
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は随意契約を行った。自然生態系保全に関する知識やネコの実態を把握し、保護している実績などを勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。予算規模・費目・使途についても事業実施に必要な不可欠なものであり適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	10-①	沖縄県復帰50周年記念事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-(ア)	
担当部署名	総務財政課	事業実施(予定)年度	令和4年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄文化の継承・発展・普及		
事業内容	沖縄県本土復帰前後の、沖縄県や東村の写真をデジタル化及び写真展を実施し、歴史と文化の継承を目的とする。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	12,784				
		(b)予算現額	7,276				
		(c)増減額(b-a)	▲5,508	0	0	0	
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	7,276	0	0	0	
		B.執行済額	6,037				
		うち交付金充当額	4,829				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	83.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明	・ネガフィルム委託業者のフィルム数量計算方法は、フィルム1本のコマ数を計算しており、積算金額は10,000本×6コマ(合計60,000コマ)を想定した金額となっていたが、実績精算は45,713コマとなったため、減額となった。 ・パネル予定枚数は6公民館×50枚の計300枚を想定し、設営・撤去を6公民館同時に設置予定であった。設置後、パネル枚数が36枚減であったこと、2公民館ずつの設営・撤去で人員、車を削減できたことで減額となった。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	東村の記録(写真、資料等)の収集・デジタル化	目標	(収集・デジタル化)	()	()	()	
		実績	収集・デジタル化				
	東村の歴史展開催	目標	(歴史展開催)	()	()	()	
実績		歴史展開催					
達成状況説明	・東村役場で保有しているネガフィルム、公共施設(学校・公民館)からの写真・資料を収集しデジタル化することができた ・各字公民館(高江・宮城・川田・平良・慶佐次・有銘)と村内施設(山と水の生活博物館・文化スポーツ記念館・東村役場村民ホール)にて沖縄県復帰50周年記念事業写真展を開催することができた						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	来場者数(各字公民館)	目標	()	(1,200)	()	()	()
		実績		987			
	写真展を訪れた来場者のうち、アンケートに答えた人の満足度(アンケート調査にて「とても良かった」と答えた割合)	目標	()	(70%)	()	()	()
		実績		82%			
進捗状況説明	・来場した人数については、6公民館にて1日20人を目標としていたが、開催期間が短かったこと、広報不足であったことから目標の内80%の来場であった。 ・来場者の満足度については、回答者289人の内82%が「とても良かった」と回答し、目標を上回る結果となった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(来場者数) ・目標に届かなかった原因として、写真展の開催期間が10日間ではなかったこと、広報不足が考えられる。	(来場者数) 広報不足としては、写真展を知ったきっかけとして約4割が「ポスター」と回答しており、村内だけではなく県内の観光施設へもポスターを配布すべきであった。
	(満足度) ・写真で歴史の移り変わりや、懐かしい風景や人が写っていたとの意見が多く、写真展にて沖縄と東村の歴史を知ることができたことが目標達成の要因と考えられる。	
今後の取り組み方針		
<p>・アンケートにおいて、写真展を今後も開催してほしいとの意見が多かったことから、村内施設と協力し沖縄と東村の歴史を今後も継承できるよう、定期的な写真展の開催を行う。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,037	6,037	4,829	1,208	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者は一般・指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○執行率は80%を超えており、適正な規模であった。 ○費用、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	